



寒い冬は銭湯でぬっくぬく♪



さっむい〜。西荻窪の天狗湯さんであつたまるよ
銭湯絵が額縁に入ってるのって珍しい！とってもステキ💎



看板猫のぐーさんにもご挨拶❤️
ぼく、すごくにおい嗅がれちゃった🐾



杉並区の銭湯では、来年3月まで
イベントをやってるよ！
銭湯ごとに決まった日にお風呂に入ると、
オリジナルタオルがもらえるんだ



天狗湯さんには猫のグッズもいっぱい❤️
3匹の看板猫がモデルなんだって。かわいいね〜

さー、ぽかぽか☀️になったしおさんぽを続けようっと🐾



あれ、絵の剥げた看板を見つけたよ
「遊」って書いてあるけどあとは読めないや...
なみきおじさん🐾に聞いてみよう〜

サポート：てく☀️てく隊 RYO
掲載：2019年12月26日



「天狗湯」は、昭和24年に開業した老舗の銭湯だ。西荻窪が舞台のマンガ『[草子ブックガイド](#)』にも背景としてでてくるぞ。額に入った富士山の絵は、現役最高齢の銭湯絵師丸山清人さんが描かれたものだ。杉並区に20軒ある銭湯ではいろいろなイベントが行われていて、現在は「杉並せんとう ぬっくい温泉と3種のハーブ湯」の期間中。週末に区内の銭湯持ち回りで、[群馬県東吾妻町の吾妻峡温泉](#)から届いた湯が楽しめる。

帰り道になみすけが見たのは、[金太郎の車止め](#)だろう。絵が剥げているが、熊にのった金太郎が描かれた遊歩道の看板だ。「天狗湯」のご主人によると、銭湯の前の「そよかぜ通り」には昔どぶ川があってよく氾濫していたそうだ。それを埋め立てて[暗渠](#)にしたところの看板だな。区内には金太郎の絵がきれいに残っているものもあるから、今度探してみるといいぞ。